

毎日「ゴールデンウィークには三密を避け家にいるように」というアナウンスが流れてきます。

「三密のところでないのならいいのでしょう。」「家に夫といると密接になるよね。」と言って、散歩に。4月29日は近場の三好山から帯仕山を周回しました。コーヒーと本をもって山頂で読書タイムと洒落こんでいましたが、三好山は手軽とあって、そこそこの家族連れや、中高生グループが次々とやってきたので退散。

やはり、ポンポン山のほうが良いとの判断で5月3日は川久保溪谷からポンポン山へ。末松さんから連絡のあった通り、原集落の空き地から本山寺駐車場まで、トラロープが張り巡らされていました。

川久保溪谷で出会ったのは3人。山頂には6~7人。下山中も同じくらいの人で、静かでした。人間社会は大騒ぎですが、自然は何事もなかったように、初夏へと歩み始めていました。

(川久保溪谷)



小さくてかわいいタニギキョウが満開



ミヤマハコベの白さにハッとします。



ジゴクノカマノフタがあちこちで招いています
(キラソウともいいます)



ニシキゴロモ



人為的に植栽したのですがクリンソウに罪はない



コバノミツバツツジ

(カタクリ自生地) (鍵を開めましたので、観察したい方は佐々木まで)

すっかり様相が変わっていました。自生地はウリハダカエデ、オトコヨウゾメ、クロモジそして、モミジの葉が茂りだしています。タカノツメや朴の木の幼木も見受けます。3本のコアジサイがぎっしりと花芽をつけていました。今年はオオカメノキもたくさんの花をつけたので楽しみです。下草にチゴユリが広がり、ナルコユリも。写真の電池切れで写真に撮れなく残念でした。



緑に覆われた自生地



そろそろツクバネウツギの花が



チゴユリ

